

教育研究評議会報

総務部総務企画課

平成23年4月26日（火） 教育研究評議会

審議に先立ち、学長から新任の構成員等の紹介、井手副学長から新人事務系幹部職員の紹介があった。

審議事項

- (1) 琉球大学に置く講座等に関する規則の一部改正（案）について
総務企画課長から、琉球大学に置く講座等に関する規則の一部改正について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。
- (2) 琉球大学国際沖縄研究所規則の一部改正（案）について
研究協力課長から、琉球大学国際沖縄研究所規則の一部改正について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。
- (3) 教員の休職について
人事課長から、教員の休職について、資料に基づき説明があり、審議の結果、教員の休職が了承された。なお、所属部局長から補足説明があった。

報告事項

- (1) 琉球大学理事及び副学長の職務分担等についての一部改正について
学長から、琉球大学理事及び副学長の職務分担等についての一部改正について、資料に基づき報告があった。
- (2) 国立大学法人琉球大学における利益相反状況に関する自己申告実施要領の一部改正について
地域連携推進課長から、国立大学法人琉球大学における利益相反状況に関する自己申告実施要領の一部改正について、資料に基づき報告があった。
- (3) 全学教員人事委員会の審議結果について
大城副学長から、第96回全学教員人事委員会の審議結果について、資料に基づき報告があった。
- (4) 平成23年度入学者数について
新里副学長から、平成23年度入学者数について、資料に基づき報告があった。
- (5) その他
 - ① 第58回琉大21世紀フォーラムの開催について
大城副学長から、第58回琉大21世紀フォーラムの開催にあたり、多くの教職員に参加いただきたい旨案内があった。
 - ② 特別企画版21世紀フォーラム ミラクル熟議 in 沖縄の開催について
大城副学長から、去る3月13日（日）から開催が延期となっていた特別企画版21世紀フォーラム「ミラクル熟議 in 沖縄」については、6月12日（日）の開催に向け、現在、文部科学省生涯学習政策局と調整中である旨報告があった。
 - ③ 東北地方太平洋沖地震義援金の募金の状況について
総務企画課長から、東北地方太平洋沖地震における被災者への義援金について、在学生の保護者、学生及び教職員等から6百万円以上の募金（4月22日現在。一部贈呈済）があり、義援金については、5月11日（水）に日本赤十字社沖縄県支部において贈呈を行う予定であること、また、義援金の受付を半年程度継続していきたい旨報告があった。
 - ④ 沖縄振興開発金融公庫運営協議会について
学長から、大城副学長が沖縄振興開発金融公庫運営協議会委員長として選任された旨報告があった。

⑤医学研究科教授の論文不正に係る学長共著論文に関する調査委員会の設置等について

- ・学長から、前回の本評議会において検討することとなっていた調査委員会の設置については、公正な立場にある小池監事にお願いしたい旨発言があった。

これを受け、小池監事から、調査委員会は評議会の下に設置し、委員は基本的に外部委員で構成することを検討している。外部委員は、生命科学分野で倫理問題に詳しい方をお願いするが、研究専門の方を入れることも検討することや外部委員との連絡調整等の担当を山崎副学長にお願いしたい旨発言があった。

また、過去の論文盗作に係る当時の資料について、本評議会に提示依頼があった資料等の確認があった。委員から、過去の件は、共著者の責任は管理・運営責任だけとの説明であったが、資料を見ると共著者の責任が問われている箇所があり、これまでの説明と異なることや今回の処分は過去の例と均衡がとれていないように思われる旨発言があった。

- ・その他に、委員から、医学研究科教授の論文不正に関し、科研費の返納はなかったかとの質問があり、佐藤副学長（前医学研究科長）から、最終的な結論は出ていないが、当該年度分については研究を中止し、残額分を返納した旨説明があった。

教育研究評議会報

総務部総務企画課

平成23年5月24日（火） 教育研究評議会

審議事項

- (1) 平成22事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）について
大城副学長から、平成22事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）について、資料に基づき説明があった。
引き続き、学長から、本報告書（案）を各部局等に持ち帰り、修正等があれば大城副学長へ連絡いただきたい旨発言があった。
- (2) 平成23年度学年暦における卒業式の日程変更について
教務課長から、平成23年度学年暦における卒業式の日程変更及び本件に対して各部局から寄せられた問題点等について、資料に基づき説明があった。
審議の結果、博士の学位記の授与の方法等については、6月中旬までに大学院委員会で調整することが確認され、平成23年度学年暦における卒業式の日程変更が了承された。
なお、学長から、次年度以降の卒業式の日程等については、今年度の卒業式等の状況を見ながら判断していきたい旨発言があった。

報告事項

- (1) 平成22年度教員業績評価の実施状況について
新里副学長から、平成22年度教員業績評価の実施状況について、資料に基づき報告があった。
- (2) 琉球大学における学生の懲戒処分への公示の取扱いについて
新里副学長から、琉球大学における学生の懲戒処分への公示の取扱いについて、資料に基づき報告があった。
- (3) 平成22年度卒業生の進路状況
新里副学長から、平成22年度卒業生の進路状況について、資料に基づき報告があった。
- (4) 特別企画版琉大21世紀フォーラム「ミラクル熟議 in 沖縄」の開催について
学長から、6月12日（日）に開催予定の特別企画版21世紀フォーラム「ミラクル熟議 in 沖縄」について、案内があった。
- (5) 平成23年度科学研究費補助金内定状況について
研究協力課長から、平成23年度科学研究費補助金内定状況について、資料に基づき報告があった。
- (6) 全学教員人事委員会の審議結果について
大城副学長から、第97回全学教員人事委員会の審議結果について、資料に基づき報告があった。
- (7) その他
 - ① 第59回琉大21世紀フォーラムの開催について
学長から、5月27日（金）に開催予定の第59回琉大21世紀フォーラムについて、案内があった。

教育研究評議会報

総務部総務企画課

平成23年6月28日（火） 教育研究評議会

審議事項

- (1) タイグエン大学（ベトナム）との大学間交流協定について
国際課長から、タイグエン大学（ベトナム）との大学間交流協定について、資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

報告事項

- (1) 九州地区11国立大学法人間の大規模災害等発生時の連携・協力に関する協定書の締結について
学長から、去る6月22日の国立大学協会総会において、九州地区11国立大学法人間の大規模災害等発生時の連携・協力に関する協定書を締結した旨報告があった。
なお、6月14日開催の部局長等懇談会において提案された、協定書名を「九州・沖縄地域」に変更することについては、九州地区国立大学協会の会議名称に合わせ、「九州地区」とすることで調整された旨、発言があった。
- (2) 平成24年度概算要求事項について
財務部長及び施設運営部長から、平成24年度概算要求事項について、資料に基づき報告があった。
- (3) 経営協議会委員等の交代等について
学長から、経営協議会の学外委員について、竹村和子前委員（お茶の水女子大学教授）から辞任の申出があったことに伴い、その後任に尚弘子委員（沖縄県文化振興会理事長）を任命したこと、並びに学内委員に仲地宗俊（農学部教授）を任命した旨報告があった。
なお、尚委員の任期は、竹村前委員の残任期間となる旨補足説明があった。
- (4) 開学60周年記念募金事業の結果報告について
大城副学長から、開学60周年記念募金事業の収支結果について、琉球大学後援財団理事会において確認がなされ通知があった旨、資料に基づき報告があった。
- (5) 全学教員人事委員会の審議結果について
大城副学長から、第98回全学教員人事委員会の審議結果について、資料に基づき報告があった。
- (6) 平成23年度科学研究費補助金の状況について
研究協力課長代理から、平成23年度科学研究費補助金の状況について、資料に基づき報告があった。
学長から、新規件数・採択率は年々増加傾向にあるが、採択件数順位で本学の上位には、本学よりも学部数の少ない大学があることから、新規件数・採択率の増加に努めていきたいこと、そのため、科学研究費補助金の申請に係る相談窓口を充実させていきたい旨発言があった。
- (7) エコ・クリーンデーの実施について
施設企画課長から、7月20日に実施予定のエコ・クリーンデーについて、各部局等への協力依頼があった。
- (8) その他
 - ① 論文不正に関する外部調査委員会の実施概要報告について
小池監事から、4月の教育研究評議会において立ち上げられた論文不正に関する外部調査委員会で行った、学長が共著者となっている2007年BBRC論文に関する調査の実施概要について、次のとおり報告があった。
5名の外部委員による調査委員会を6月20日に開催し、筆頭著者から提出された対象論文に関わる実験ノート、元データとの照合、並びに関係者からのヒアリングを実施

した結果、対象論文において β アクチンのコントロール実験が実施されておらず、これは論文データの偽装に当たると判断し、不正論文であると調査委員会では結論した。対象論文は、病理学的な視点からの前半と分子生物学的なアプローチからの後半の2つの研究を合わせており、前半の病理学的な解析では不正行為はなく、また予備実験としてRT-PCR に関してもコントロールが取られていることから、研究上問題となる点は認められなかった。一方後半では、筆頭著者に対してコントロール実験を省略して良いと指導教員である責任著者が指導し、それにより筆頭著者はコントロール実験をやめていることから、当該教授の責任というものは大きい。

なお、当該報告に対して、主に次のような質疑があった。

- ・以前、教育研究評議会で提出された、医学部の調査委員会での見解と、今回の外部調査委員会の報告は大学院生からの供述が全く違うようなものになっているように感じる。
- ・医学部の調査委員会では、実験ノートは見つからなかったとの説明があったが、どういうことなのか。

これらに対し、佐藤副学長から、医学部としては、当該論文だけではなく、学位論文11編について独自に調査をして、不正性の確認とその不正の部分への大学院生の関与の度合いを調査する過程で、大学院生本人から事情聴取を行った。その時の調査で、大学院生から、実験の前半部分は β アクチンの実験はやったが、途中からは研究室全体の中で、それは省略しても構わないという指導を受けて後半はやっておらず、前半の部分の β アクチンは記憶ははっきりしないけれども、たぶん私がやったと思うとの発言があった。また、基本的に実験ノートやデータを研究室から持ち出しが出来ないようなシステムになっており、当時のパソコンデータ等をもう一度掘り起こしてみないと実験データについては出せるかどうか分からないとの話で終わっているとの回答があった。

- ・最終報告はいつ頃になる予定なのか。
- ・研究活動上の不正行為ということで、これは「捏造」というカテゴリーになるのか。

これらに対し、小池監事から、1ヶ月を目途に正式な報告書を出したいということと、その報告書では、今回の内容が大きく変わることはないこと。また、外部調査委員会とすると、これは捏造にあたると考えているとの回答があった。

- ② 大学の個性、特色ある教育・研究の発展及び外部資金獲得へのご協力について
学長から、去る6月12日に開催された「ミラクル熟議 in 沖縄」の実施報告があり、大学の個性、特色ある教育・研究について、鈴木副大臣から称賛されたことから、今後も大学の個性・特色ある教育・研究の発展に努めていきたい旨発言があった。併せて、学長から、外部資金獲得に向け各部局等へ協力いただきたい旨依頼があった。
- ③ 平成23年度琉球大学オープンキャンパスについて
新里副学長から、7月23日に実施予定の平成23年度琉球大学オープンキャンパスについて、資料に基づき報告があり、各部局等への協力依頼があった。
- ④ 法文学部教員による酒気帯び運転について
法文学部長から、法文学部教員が酒気帯び運転による事故で逮捕されたことについて、謝罪があった。また、学長から、本件のような場合においては、学内の調査委員会等の立ち上げ等、迅速に対応できるシステム作りを検討したい旨発言があった。
- ⑤ 沖縄科学技術研究基盤整備機構（OIST）との研究交流の実施について
学長から、去る6月17日に開催された沖縄科学技術研究基盤整備機構と本学との研究発表・交流会の実施報告があった。また、学長から、沖縄科学技術研究基盤整備機構との学術交流の一環として、「アジア太平洋青少年交流フォーラム」を沖縄で共同開催することが決定し、準備を進めている旨説明があった。

教育研究評議会報

総務部総務企画課

平成23年7月26日（火） 教育研究評議会

審議事項

- (1) 国立大学法人琉球大学附属図書館規則の一部改正（案）について
総務企画課長から、国立大学法人琉球大学附属図書館規則の一部改正について、資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。
- (2) 国立大学法人琉球大学附属図書館運営委員会規程の一部改正（案）について
総務企画課長から、国立大学法人琉球大学附属図書館運営委員会規程の一部改正について、資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。
なお、評議員から、改正（案）中、第2条第3号に規定されている附属図書館の予算に関する事項は、現行の規程の下ではどこで審議されていたのかという旨の質問があり、総務企画課長及び附属図書館長から、これまでは第2条第6号に規定される重要事項として、附属図書館運営委員会で審議されていたが、今回の改正で明確に規定することとした旨発言があった。

報告事項

- (1) 平成22年度監事監査意見書について
小池監事から、平成22年度監事監査意見書について、資料に基づき報告があった。
- (2) 平成24年度概算要求事項について
親川副学長から、平成24年度概算要求事項について、要求順位を役員会で決定した後、文部科学省へ提出した旨、資料に基づき報告があった。
- (3) 平成23年度利益相反マネジメント自己申告書提出状況について
地域連携推進課長から、平成23年度利益相反マネジメント自己申告書の提出状況について、資料に基づき説明があった。なお、提出率の向上を図るため、各部局等長においては、部局等の教員に再度周知いただきたい旨依頼があった。
- (4) その他
 - ① 学生の自殺予防対策について
新里副学長から、学生生活委員会において学生の自殺予防対策を検討したので、各部局等においては適切に対応いただきたい旨依頼があった。また、国で定める自殺予防週間に係るポスターが届き次第、各部局等へ送付することとしたいが、ポスターの掲示の時期等についても、各部局で適切に取り計らい願いたい旨依頼があった。
学長から、学生の不祥事等も最近多く見られることから、各部局等においては適切にご指導いただきたい旨依頼があった。また、学長から、保健管理センターを中心に、学生のメンタルヘルスケアを充実させたい旨発言があった。
 - ② 平成23年度琉球大学オープンキャンパスについて
新里副学長から、去る7月23日に開催された、平成23年度琉球大学オープンキャンパスについて、各部局等へ謝辞があった。
 - ③ 論文不正に関する外部調査委員会の最終報告について
小池監事から、4月の教育研究評議会において立ち上げられた論文不正に関する外部調査委員会で行った、学長が共著者となっている2007年BBRC論文に関する調査の実施概要について、資料に基づき説明があり、当該論文はデータの捏造による不正論文である旨の最終報告が行われた。なお、外部調査委員会では、調査報告書が公表されることを期待している旨の発言があった。

当該報告に対して、評議員から、今後このような不正行為が再び起こらないように、万全の策の策定、歯止めをしっかりと確実にすること、全学的に不正を防止するため、規則等を制定することによりきちんと対応していただきたい旨

発言があった。

さらに、評議員から、再発防止として、医学部の学位論文に係る審査会のあり方をしっかりと考えていただきたい旨発言があり、医学研究科から、医学研究科で、講座に指導教員を付け、毎年1回指導教員が実験ノートを確認すること、倫理審査委員会の申請を行っているか確認すること、及び学位審査においては、学外審査委員を1名つけることを検討している旨発言があった。

また、本評議会の下に委員会を設けて、「この問題に対する学長の運営と社会的行動の検証」、「医学部調査委員会の活動の検証」及び「今後の対策の方向性」の3点を検討していくことを提案したい旨発言があった。

臨時教育研究評議会報

総務部総務企画課

平成23年8月18日（木） 臨時教育研究評議会

審議事項

(1) 法文学部教員による不祥事について

初めに、法文学部長から、法文学部教員による不祥事について謝罪があり、資料に基づき事案の経過説明があった。引き続き、法文学部教授会の下に設置した「法文学部教員による不祥事に関する調査委員会」による調査報告書に基づき報告があった。

学長から、本評議会のもとに調査委員会を設置することとしたいが、調査委員会と審査説明書作成委員会を別々に設置するか、又は審査作業の効率化を念頭に、「調査及び審査説明書作成委員会」として設置するかの2案について提議があり、審議の結果、調査委員会と審査説明書作成委員会を別々に設置することで了承された。

引き続き、新里副学長から、当該調査委員会の委員を、前門法文学部長、梅村観光科学研究科長、中村教育学部長、山崎理学部評議員、高良工学部長、井上農学部評議員、屋熱帯生物圏研究センター長及び法務研究科から吉崎教授の8名に依頼したい旨の発言があり、了承された。なお、学長から、審査説明書作成委員会委員には、調査委員会委員に加えて、調査委委員会の委員に選任されなかった学部長（牛窪観光産業科学部長、山里理学部長、須加原医学部長、川本農学部長）を加えた構成としたい旨の発言があり、併せて了承された。

報告事項

(1) 教員養成課程を考える全学シンポジウムの開催について

学長から、去る8月16日（火）に開催された「教員養成課程を考える全学シンポジウム」について、御礼と報告があった。

教育研究評議会報

総務部総務企画課

平成23年9月27日（火） 教育研究評議会

審議事項

審議に先立ち、井手副学長から、事務系幹部職員の異動の紹介があった。

- (1) 琉球大学大学院学則の一部改正（案）について
教務課長から、琉球大学大学院学則の一部改正について、資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。
- (2) 教員の休職について
人事課長から、教員の休職について、資料に基づき説明があり、審議の結果、教員の休職が了承された。
- (3) 法文学部教員による不祥事に関する調査結果の報告について
山崎委員長及び吉崎委員から、資料に基づき、法文学部教員による不祥事に関する調査結果の報告があった。
また、山崎委員長から、委員会の付帯意見として、本学の就業規則の懲戒の事由に交通事故・道路交通法規違反に係る取扱いを明記すべきである旨の報告があり、学長から、本学の就業規則は国立大学法人化時の懲戒事由の大部分を依然踏襲している内容であること、また、本学の学生の懲戒に関する基準との整合性の観点からも、就業規則の改正について今後検討していきたい旨発言があった。
引き続き、新里副学長から、審査説明書作成委員会の設置及び構成員について提案があり、審議の結果、審査説明書作成委員会の設置が了承された。

報告事項

- (1) 名誉博士の称号授与について
佐藤副学長から、名誉博士の称号授与について、資料に基づき報告があった。
- (2) 公的研究費の不適切な経理に係る調査について
財務企画課長から、公的研究費の不適切な経理に係る調査について、資料に基づき説明があり、各部局等へ調査の依頼があった。
- (3) 全学教員人事委員会の審議結果について
大城副学長から、第99回及び第100回全学教員人事委員会の審議結果について、資料に基づき報告があった。
- (4) 学生表彰について
新里副学長から、理工学研究科の学生4名（平成23年度9月修了）を表彰したことについて、資料に基づき報告があった。
- (5) 琉大祭の実施について
学生課長から、資料に基づき、10月1日（土）、2日（日）に開催される第60回琉大祭の実施について説明があり、併せて琉大祭への協力依頼があった。
- (6) 法科大学院入試選抜状況・平成23年度新司法試験の結果について
法務研究科長から、法科大学院入学者選抜実施状況及び平成23年度新司法試験の結果について、資料に基づき報告があった。
- (7) リーディング大学院について
学長から、リーディング大学院について、資料に基づき説明があった。
- (8) その他
 - ① 委員会の立ち上げについて
学長から、研究活動上の不正防止に関連して、前回の教育研究評議会にて提案があった、教育研究評議会の下に委員会を設置することについて提案があり、了承された。
併せて、学長から、佐藤副学長（研究担当）に第1回の委員会を招集、及び委員長の

選出を行っていただき、委員は、各学部評議員（観光産業科学部を除く）、観光科学研究科長、熱帯生物圏研究センター長及び大城副学長により構成することとし、法務研究科については、必要に応じて参加することが了承された。

小池監事から、現行の本学の研究活動上の不正行為の防止及び対応に関する規程では、調査結果の公表において個人が識別されない取扱いとなっていることから、前回の教育研究評議会で報告をした論文不正に関する外部調査委員会の報告書が公表できない状況である旨発言があった。また、同監事から、外部調査委員会委員は調査報告書の公表にあたっては、論文著者の氏名の公表を期待していること、他大学では、就業規則においては本学と同じであるが、研究活動上の不正行為に関しては氏名の公表を行っていることから、本学においても研究活動上の不正行為の防止及び対応に関する規程と職員懲戒等規程の整合性について、規則改正等を含めて再度検討していただきたい旨発言があった。

これに対し、学長から、立ち上げが了承された委員会において、研究活動上の不正行為に関する調査結果の公表について、規則の改正等も含めて検討してはどうかとの発言があった。

法文学部長から、前回の教育研究評議会議事要旨の修正について依頼があり、一部文言を追記することが了承された。

工学部長から、外部調査委員会の調査結果として、データの流用ではなく、捏造であることが明確になったことから、当該論文のジャーナルの取り消し理由が捏造に変更されたかどうか、2004年の科研費に申請された学長共著論文の調査結果はどうなったか、及び文部科学省から新たに論文に関する調査依頼があったのかどうかについて質問があった。

これに対し、学長から、2004年の共著論文には、共著者として名前は載っているが、学長のデータは載っておらず、既に当該教員が取り下げを行っている。また、科研費については、当該教員が個人の業績として申請しており、申請時には不正論文という扱いではなかったため、名前がそのまま載っていたという旨説明があった。

続いて、研究協力課長から、当該教授の件で、文部科学省へ告発があり、その事実確認の依頼が文部科学省からあったので、現在、確認中である旨の説明があった。

② 第5回世界のウチナーンチュ大会について

学長から、10月12日（水）から開催される、第5回世界のウチナーンチュ大会について、案内があった。

教育研究評議会報

総務部総務企画課

平成23年10月25日（火） 教育研究評議会

審議事項

審議に先立ち、井手副学長から、事務系新任幹部職員の紹介があった。

(1) 名誉教授候補者の選考について

人事課長から、理学部から推薦のあった名誉教授候補者に対し、「琉球大学名誉教授称号授与規程」に基づき適用条項の説明が行われた後、理学部長から名誉教授候補者の功績について、資料に基づき説明があった。

引き続き、称号授与の可否について投票が行われ、投票の結果、名誉教授候補者に対して名誉教授の称号を授与することが了承された。

(2) 教員の休職について

人事課長から、教員の休職について、資料に基づき説明があり、審議の結果、教員の休職が了承された。

(3) 学生の懲戒処分について（案）

新里副学長から、法文学部及び観光産業科学部教授会並びに学生生活委員会での審議結果について説明があった。引き続き、牛窪法文学部・観光産業科学部調査委員会委員長から、学生の不祥事に係る経過報告及び処分内容について調査報告書に基づき説明があった。

審議の結果、提案どおり学生2名の懲戒処分が了承された。

なお、評議員から、再発防止に向けて、学生に対し、本学の相談窓口の積極的な利用について、周知徹底していただきたい旨発言があった。

報告事項

(1) 平成24年度概算要求事項について

親川副学長から、文部科学省から財務省へ提出された平成24年度概算要求事項等について、資料に基づき報告があった。

(2) 平成24年度予算編成方針について

親川副学長から、平成24年度予算編成方針について、経営協議会及び役員会で審議決定された旨報告があった。

(3) 琉球大学法務研究科における改善の方向性について

親川副学長から、経営協議会及び役員会で審議決定された法務研究科における学修支援等改善方策について、資料に基づき報告があった。

(4) 平成23年人事院勧告について

井手副学長から、平成23年人事院勧告について、資料に基づき報告があった。なお、同勧告とは別に、本年6月に閣議決定された給与削減法案が国会で継続審議になっていることから、本学給与関係規則等の取扱いについては、今後の状況を見据えながら、学長と相談し、対応することとしたい旨説明があった。

(5) 全学教員人事委員会の審議結果について

大城副学長から、第101回及び第102回全学教員人事委員会の審議結果について、資料に基づき報告があった。

(6) 平成23年度（第60回）琉大祭について

学生課長から、去る10月1日（土）、2日（日）に開催された第60回琉大祭の実施報告があった。

- (7) 学生援護会部局別寄附状況について
新里副学長から、平成23年度（7月期募集分）学生援護会部局別寄附状況について、資料に基づき説明があった。
また、新里副学長から、平成23年度12月期募集分においても、各部局等へ協力いただきたい旨発言があった。
- (8) EA21 現地審査について
施設企画課長から、エコアクション21に係る中間現地審査の日程について、資料に基づき説明があった。なお、受審にあたり、説明会を実施予定である旨の案内があった。
- (9) その他
- ①東北地方太平洋沖地震義援金について
総務企画課長から、本学における東北地方太平洋沖地震義援金の募集を9月末で終了し、日本赤十字社等へ募金した旨報告があった。義援金総額は約680万円であり、追ってホームページで報告する旨説明があった。
- ②化学物質等管理に係る検討WGの設置について
親川副学長から、化学物質等管理に係る検討WGを設置した旨報告があった。
- ③研究活動上の不正行為に関する調査結果の公表に係る検討委員会について
学長から、論文不正に関する外部調査委員会の報告書の公表に向けて、本学における研究活動上の不正行為の防止及び対応に関する規程と職員懲戒等規程の整合性及び規程改正等について検討する委員会を教育研究評議会の下に設置することについて提案があり、了承された。併せて、学長から、委員は、新里副学長、親川副学長、法文学部評議員、法務研究科長、理学部評議員及び農学部評議員により構成することとしたい旨発言があった。
- 工学部長から、前回の教育研究評議会において質問した、当該論文のジャーナルの取り消し理由が捏造に変更されたかどうか、及び当該論文に関して、文部科学省と同様の告発が本学にもあったのではないかという質問に対する回答をいただきたい旨発言があり、学長から、本学への告発については承知していないこと、また、当該論文の取り下げについて医学部長に意見や情報を求める旨発言があった。

臨時教育研究評議会報

総務部総務企画課

平成23年11月8日（火） 臨時教育研究評議会

審議事項

(1) 法文学部教員による不祥事に関する審査結果の報告等について

法文学部教員による不祥事に関する審査説明書作成委員会の山崎委員長から、同委員会での審議経過及び処分量定等について、資料に基づき報告があった。

引き続き、人事課長から、審査説明書（案）の内容が読み上げられた。

審議の結果、審査説明書（案）の量定の可否について、出席評議員による投票で決定することとし、投票の結果、出席評議員の過半数以上の同意を得られたことから、当該教員に対し、「懲戒・停職10月」の審査説明書を交付することが了承された。

なお、学長から、国立大学法人琉球大学職員懲戒等規程（千原事業場）第5条第3項の規定により、当該教員へ審査説明書を交付した後、当該教員から14日以内に陳述請求があった場合は教育研究評議会にて陳述の機会を与え、後に再審査することとし、当該教員から請求がない場合、または陳述をしない旨申出があった場合には、教育研究評議会にて懲戒処分書（案）及び処分説明書（案）について審査を行う旨の説明があった。

教育研究評議会報

総務部総務企画課

平成23年11月22日（火） 教育研究評議会

審議事項

＊ 審議に入る前に、工学部長から、前回の教育研究評議会議事要旨の修正について依頼があり、一部文言を追記することが了承された。

(1) 法文学部教員による不祥事に関する懲戒処分書の審査等について

学長から、法文学部教員による不祥事に関する審査等の経過報告があり、その後、人事課長から、当該教員からの謝罪の文書並びに処分説明書（案）及び懲戒処分書（案）の読み上げがあった。

引き続き、投票が行われ、出席評議員の過半数以上の同意が得られたことから、法文学部教員による不祥事に関する懲戒処分として、停職10月が了承された。

(2) 医学研究科准教授に係る論文の不正問題に関する報告について

医学研究科長から、大学院医学研究科准教授による論文の不正問題に関する調査報告について、資料に基づき説明があり、大学院医学研究科教授会では「減給」とすることが妥当であると判断した旨の報告があった。

学長から、本評議会のもとに調査委員会を設置することについて提案があり、審議の結果、了承された。

引き続き、新里副学長から、調査委員会委員については、狩俣法文学部評議員、永津教育学部評議員、石田医学部評議員、金子工学部評議員、渡名喜法務研究科長、浜崎大学教育研究センター長、金城留学生センター長及び伊澤理学部教授の計8名にお願いしたい旨提案があり、了承された。

なお、評議員から、大学院医学研究科における不正論文の一連の問題について、筆頭著者となっていた大学院生、特命助教及び他の医学研究科の助教の処分について質問があり、学長及び医学研究科長から、大学院生、特命助教及び他の医学研究科の助教については、既に処分等が済んでいる旨の報告があった。

(3) 琉球大学学則等の一部改正（案）について

教務課長から、琉球大学学則等の一部改正について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

(4) 平成24年度学年暦（案）について

教務課長から、平成24年度学年暦について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

(5) 琉球大学における研究活動上の不正行為の防止及び対応に関する規程の一部改正（案）について

新里副学長から、琉球大学における研究活動上の不正行為に係る調査結果の公表について、本評議会のもとに設置された検討委員会の検討結果として、琉球大学における研究活動上の不正行為の防止及び対応に関する規程の一部改正案について、資料に基づき説明があった。

評議員から、通報者による申立が悪意に基づく虚偽のものであると認定された場合に、通報者の所属及び氏名の公表を行うとの改正について、九州地区の他大学ではどのような取扱いとなっているかという旨の質問があり、研究協力課長から、他大学の状況を確認し、次回報告する旨発言があった。

また、小池監事から、平成23年7月26日開催の本評議会で報告のあった、論文不

正に関する外部調査委員会の報告書に係る氏名等の公表について、本規程の改正を遡及適用するのが相応しいのか懸念が残るため、出来れば、遡及適用ではなく、教育研究評議会の決定を基に報告書を公表した方がいいのではないかという旨の発言があった。

これに対し、学長から、本規程の遡及適用については、法的解釈が分かれ、不利益遡及の可能性もあることから、安易な遡及はしてはならないが、適用の範囲を特定することで対応できるのではないかという旨の発言があった。また、法務研究科長から、遡及適用については、大学の良識に基づき判断してはどうかという旨の発言があった。

審議の結果、本規程の改正案及び遡及適用の妥当性について、各部局等へ持ち帰り検討し、次回の教育研究評議会で改めて検討することとなった。

(6) 国際交流協定締結手続きの見直しについて

国際課長から、国際交流協定締結手続きの見直しについて、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

(7) 平成23年度卒業式・大学院修了式（案）について

総務企画課長から、平成23年度卒業式・大学院修了式について、各部局等の意見を受け、バス利用予定台数を増台したこと等、資料に基づき説明があり、了承された。

6. 報告事項

(1) 平成22年度に係る業務の実績に関する評価結果について

大城副学長から、平成22年度に係る業務の実績に関する評価結果について、資料に基づき報告があった。

(2) 平成23年度利益相反マネジメント実施状況について

地域連携推進課長から、平成23年度利益相反マネジメント実施状況について、資料に基づき報告があった。また、山崎副学長から自己申告の提出について、今後とも各部局等で周知いただきたい旨協力依頼があった。

(3) 全学教員人事委員会の審議結果について

大城副学長から、第103回全学教員人事委員会の審議結果について、資料に基づき報告があった。

(4) 年末・年始の日程（案）について

総務企画課長から、年末・年始の日程について報告があり、1月4日の学長年頭あいさつ及び新年賀詞交歓会への参加の呼びかけがあった。

(5) その他

① 平成24年度年度計画の作成について

大城副学長から、平成24年度年度計画の作成に係る今後のスケジュール等について、説明があった後、作成にあたって、各部局等へ協力依頼があった。

② 附属病院における刑事事件について

附属病院長から、11月21日（月）に発生した附属病院における刑事事件について、経過報告があった後、今後の対応として、関係職員等の心のケアをはじめ、再発防止に努めたい旨発言があった。

教育研究評議会報

総務部総務企画課

日 時 平成23年12月20日（火） 13:30～14:15

審議事項

(1) 大学機関別認証評価の受審年度について

新里副学長から、大学機関別認証評価の受審年度について、法人評価の今後の実施状況を踏まえ、平成28年度に申請し、平成29年度に受審したい旨資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

(2) 「琉球大学目標管理型自己点検に基づく教員業績評価について」の一部改正（案）について

新里副学長から、教員業績評価に係る基本方針の一部改正について、資料に基づき説明があり、意見交換の後、部局等における検討を踏まえ、次回に再度審議することとなった。

(3) 琉球大学における研究活動上の不正行為の防止及び対応に関する規程の一部改正（案）について

新里副学長から、琉球大学における研究活動上の不正行為の防止及び対応に関する規程の一部改正に関して、前回、評議員から問い合わせがあった、通報者による申立が悪意に基づく虚偽のものであると認定された場合の通報者の氏名等の公表に係る、九州地区の他大学の取扱いについて、資料に基づき説明があった。

審議の結果、調査の結果研究活動上の不正行為があったと認められた場合、研究活動上の不正行為に関与した者の所属及び氏名を公表する旨の改正方針が了承された。なお、一部改正については了承されたものの、規程の文言に一部不明瞭な表現部分があることから、この部分を修正した上で、次回再度審議することとなった。

このことに関し、学長から、平成23年7月26日開催の本評議会に報告があった、論文不正に関する外部調査委員会の報告書について、同調査委員会から、公表に当たっては氏名等の公表を行ってほしい旨要請があることから、本評議会として、本規程の改正（調査結果報告に係る氏名等の公表）に係る方針を踏まえて、同報告書については特別に氏名等もあわせて公表することとしたい旨発言があり、審議の結果、了承された。

なお、評議員から、外部調査委員会の報告書の公表に係る手続きを早急に進めていただきたい旨発言があった。

(4) 平成24年度琉球大学入学式・大学院入学式（案）について

総務企画課長から、平成24年度琉球大学入学式・大学院入学式について、資料に基づき説明があり、了承された。

評議員から、学生及び保護者等の昼食について配慮願いたい旨発言があり、総務企画課長から、食堂（大学生協）並びに大学構内での弁当の販売等で対応したい旨説明があった。

(5) 学生の懲戒処分（案）について

新里副学長から、工学部学生の懲戒処分案についての学生生活委員会での審議結果について資料に基づき説明があった。引き続き、工学部長並びに金子評議員から、工学部教授会での審議結果について、補足説明があった。

審議の結果、提案どおり、当該学生の懲戒処分が了承された。

報告事項

(1) 平成23年度予算の執行について

親川副学長から、平成23年度予算の執行について、資料に基づき報告があった。

(2) 平成23年度政府補正予算について

財務部長から、平成23年度政府補正予算について、資料に基づき報告があった。引き続き、施設運営部長から、施設に関する事項の報告があった。

(3) 公的経費の適正な執行に係る調査結果について

財務企画課長から、公的経費の適正な執行に係る調査結果について、資料に基づき報告があった。

また、財務企画課長から、本調査結果を念頭に、平成24年度予算配分方針を検討することを役員会並びに財務委員会に諮問したい旨発言があった。

(4) 全学教員人事委員会の審議結果の報告について

大城副学長から、第104回全学教員人事委員会の審議結果について、資料に基づき報告があった。

(5) 琉球大学学生援護会寄附金（12月期）の募集について

新里副学長から、琉球大学学生援護会寄附金（12月期）の募集について協力いただきたい旨依頼があった。

(6) EA21 現地中間審査報告について

親川副学長から、エコアクション21 現地中間審査について、資料に基づき報告があった。

(7) その他

①学長と女性教職員との懇談会について

学長から、去る12月19日（月）に開催された、「学長と女性教職員との懇談会」において、大学構内のセキュリティ強化並びに女性教員の雇用促進に係る要望があった旨報告があり、これらのことについて、各部局等においても是非対応いただきたい旨発言があった。

②国家公務員給与について

学長から、国立大学協会では、政府に対して、「国家公務員の給与の臨時特例に関する法律案」に対する要望書を提出予定である旨報告があった。

教育研究評議会報

総務部総務企画課

日 時 平成24年1月24日（火） 14:00～15:10

審議事項

- (1) 「琉球大学目標管理型自己点検に基づく教員業績評価について」の一部改正（案）について

新里副学長から、教員業績評価に関する教育学部提出の意見について、資料に基づき説明があった。本件に関連し、中村教育学部長から、学部から提出された意見は教員業績評価の方法への疑問や効果検証が不十分であるという一部の教員からの指摘であり、改正案に対する意見ではない旨発言があった。

審議の結果、改正案について了承された。

- (2) 琉球大学における研究活動上の不正行為の防止及び対応に関する規程の一部改正（案）について

新里副学長から、前回の本評議会において一部不明瞭であると指摘された文言について、資料に基づき訂正の説明があり、審議の結果、改正案が了承された。

なお、工学部長から、本改正に伴い、審議4の調査結果の事案についても氏名等の公表対象となるか質問があったが、本改正の遡及適用はないことから、審議4の事案については非公表となることが確認された。

- (3) 平成24年度内地研究員の決定について

学長から、内地研究員候補者について資料に基づき説明があり、内地研究員審査の結果に基づき、工学部准教授に決定したい旨発言があり、審議の結果、了承された。

- (4) 大学院医学研究科准教授に係る論文の不正問題に関する調査結果の報告について

渡名喜調査委員会委員長から、大学院医学研究科准教授に係る論文不正に関する調査結果について、調査報告書案に基づき説明があり、調査委員会として、論文作成における実験結果の重複使用、図の反転という行為が、研究活動上の不正行為に該当し、本学就業規則の懲戒事由に該当するものとして、懲戒処分が相当であるという判断に至った旨報告があった。審議の結果、同調査報告書を了承した。

報告を受けて、学長から審査説明書作成委員会を設置することについて提案があり、審議の結果、了承された。引き続き、新里副学長から、審査説明書作成委員会は、調査委員会の委員に、前門法文学部長、牛窪観光産業科学部長、山里理学部長及び川本農学部長を加えた構成としたい旨発言があり、併せて了承された。

報告事項

- (1) 平成24年度政府予算案について

親川副学長から、平成24年度政府予算案について資料に基づき報告があった。

- (2) 平成23年度補正予算（施設整備費）内示について

施設運営部長から、平成23年度補正予算の正式な決定通知があった旨報告があった。

- (3) 全学教員人事委員会の審議結果について

大城副学長から、第105回全学教員人事委員会（12月13日開催）の審議結果について、資料に基づき報告があった。

- (4) 共通教育等科目のプロフェッサー・オブ・ザ・イヤー（平成２２年度）受賞者について
教務課長から、共通教育等科目のプロフェッサー・オブ・ザ・イヤー（平成２２年度）の受賞者が決定し、表彰式が１月２５日に開催される旨報告があった。
- (5) 大学入試センター試験について
新里副学長から、大学入試センター試験において本学では大きな問題がなく実施された旨報告があり、教職員の協力への謝意が述べられた。
- (6) 平成２４年度定例会議について
総務企画課長から、平成２４年度の定例会議の開催予定について報告があった。
- (7) その他
- ①学長と沖縄労働局長との懇談会について
学長から、沖縄労働局長、沖縄労働局職業安定部長及び沖縄県商工労働部長と、学生の就職支援での連携強化について懇談を行った旨報告があった。
- ②学生と学長との懇談会について
学長から、学生と学長との懇談会において、学生の就職支援などについて懇談した旨報告があった。
- ③学長・理事と女性教職員との懇談会について
学長から、女性教職員との懇談会の中で、託児所の整備や育児休暇明けの業務支援への要望があった旨報告があった。
また、学長から子育て支援について、今後懇談会等を持ちたい旨発言があった。

教育研究評議会報

日 時 平成24年2月28日（火） 14:00～15:40

審議事項

(1)平成24年度年度計画（案）について

大城副学長から、平成24年度年度計画（案）について、資料に基づき説明があり、経営協議会の意見も聴取のうえ、3月末の文部科学省への提出まで引き続き検討していきたい旨発言があった。

学長から、本案を各部局へ持ち帰り検討し、次回評議会で再度審議したい旨発言があった。

なお、浜崎大学教育センター長から、資料中の空欄箇所（No.54）について質問があり、大城副学長から、国における平成24年度の人件費の方針が固まり次第策定する予定であるとの回答があった。

(2)「琉球大学大学院学則」の一部改正について

教務課長から、琉球大学大学院学則の一部改正について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

(3)琉球大学情報セキュリティポリシーの一部改正（案）について

和田副学長から、琉球大学情報セキュリティポリシーの一部改正について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

(4)国立大学法人琉球大学情報システム運用委員会規程の一部改正（案）について

和田副学長から、情報セキュリティポリシーの一部改正に伴い、情報システム運用委員会の組織を改正することに関する規程の一部改正について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

(5)国立大学法人琉球大学情報システム運用・管理規程（案）について

和田副学長から、情報システム運用・管理規程の制定について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

(6)男女共同参画推進にかかるアクションプランについて

井手副学長から、男女共同参画推進にかかるアクションプランについて、資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。また、学長から、本プランに基づき、平成27年度までに女性教員の比率を現在の13%前半から17%以上まで向上することについて協力依頼があった。

(7)教員の休職について

人事課長から、教員の休職について、資料に基づき説明があり、審議の結果、教員の休職が了承された。

(8)大学院医学研究科准教授に係る論文不正に関する審査説明書（案）について

大学院医学研究科准教授に係る論文の不正に関する審査説明書作成委員会の金子委員長から、審査説明書（案）について資料に基づき説明があった。

審議の結果、審査説明書（案）の量定の可否について、出席評議員による投票で決定することとし、投票の結果、出席評議員の過半数以上の同意を得られたことから、当該教員に「懲戒・停職3月」の審査説明書を交付することが了承された。

なお、学長から、国立大学法人琉球大学職員懲戒等規程（上原事業場）第5条第3項の規定により、当該教員へ審査説明書を交付した後、当該教員から14日以内に陳述請求があった場合には、教育研究評議会で陳述の機会を与え、後に再審査することとし、当該教員から請求がない場合、または陳述をしない旨申出があった場合には、教育研究評議会で懲戒処分書（案）及び処分説明書（案）について審査を行う旨説明があった。

報告事項

(1) 国立大学法人琉球大学情報システム非常時行動計画に関する規程等について

和田副学長から、情報システム非常時行動計画に関する規程等について、資料に基づき報告があった。

(2) 国立大学法人琉球大学情報格付け基準について

和田副学長から、情報格付け基準について、資料に基づき報告があった。なお、工学部長から、全学の運用スケジュールについて質問があり、和田副学長から、本部事務部門で運用を検討しているがその実施状況を踏まえながら改良し、全学に広げていきたい旨説明があった。また、理学部長から、学部事務での運用について質問があり、和田副学長から、本部事務での実施状況を確認のうえ学部事務でも実施していきたい旨説明があり、大学の情報については、基本的に保持する部局で管理してほしい旨発言があった。

(3) 国立大学法人琉球大学情報セキュリティ研修計画について

和田副学長から、情報セキュリティに係る規則等を役職員が理解するために研修を実施する必要性について説明があり、資料に基づき、研修内容及び年度計画の報告があった。

(4) 全学教員人事委員会の審議結果について

大城副学長から、第106回及び第107回全学教員人事委員会の審議結果について、資料に基づき報告があった。

(5) 平成24年度一般入試の入学志願者数等について

新里副学長から、平成24年度一般入試の入学志願者数等について、資料に基づき報告があった。今年度の特徴として県外からの入学志願者が増えた旨説明があった。

また、2月25日に実施された一般入試において、教育学部の英語のリスニングテストの最中に音飛びが発生したことについて説明があり、リスニングテストの採点を行わず、筆記試験のみの採点とした旨報告があった。

(6) 経営協議会委員について

学長から、平成24年度の経営協議会委員について、資料に基づき報告があった。新任の学内委員として理学部土屋誠教授、学外委員としてお茶の水女子大学の羽入佐和子学長へ依頼したい旨発言があった。

(7) その他

① ネットワーク障害について

和田副学長から、2月21日（水）に発生した全学的なネットワーク障害について、ハブの故障が原因であった旨報告があり、各部局等に対して、早期に、広帯域（光）ネットワークに移行していただきたい旨要請があった。

② 国家公務員の給与削減について

学長から、国家公務員の給与削減について、学長・役員については減額の予定であるが、その他教職員については対応を検討中である旨発言があった。

③台湾の東海大学長の訪問について

学長から、去る2月27日に台湾の東海大学学長が来学し、研究協力及び交流について懇談した旨報告があった。

④入試トラブルについて

教育学部長から、2月25日（土）に実施された一般入試前期日程で教育学部において発生したリスニングテストのトラブルについて、お詫びがあった。なお、補足説明として、CD 3枚、再生機2台を用いても音飛びが発生したことが報告された。

永津評議員から、試験の一部が採点されなかったことは受験生にとっては不平等ではないかとの指摘がなされ、新里副学長及び学生部長から状況の説明があった後、事前の申し合わせ〔平成24年度入学者選抜試験（前期：英語リスニング）実施要項〕のとおり対応である旨回答があった。

また、永津評議員から、本件に関する報道について、新聞によって内容が違ふとの指摘があり、マスコミ対応に問題はなかったか質疑がなされた。

今回のトラブルについての事故原因の特定とこれに伴う責任の所在が曖昧であるため、今後トラブルが発生しないよう、きちんと検証すべきであるとの発言があった。

学長から、今後の試験実施に関して、受験生に不利になることはあってはならず、不備がないようにやっていく必要がある旨発言があった。

臨時教育研究評議会報

総務部総務企画課

日 時 平成24年3月13日（火） 18:00～18:25

審議事項

- (1) 大学院医学研究科准教授に係る論文不正に関する懲戒処分書の審査等について
学長から、大学院医学研究科准教授に係る論文不正に関する懲戒処分書の審査等について、当該教員から陳述をしない旨申出があったことの報告があり、その後、人事課長から処分説明書（案）及び懲戒処分書（案）の読み上げがあった。
引き続き、投票が行われ、出席評議員の過半数以上の同意が得られたことから、大学院医学研究科准教授に係る論文不正に関する懲戒処分として、停職3月が了承された。
なお、医学研究科長から本件に関して謝罪があり、再発防止について対策を立てている旨発言があった。

報告事項

- (1) その他
 - ① 入試後期日程について
学長から、3月13日まで入試後期日程が実施された旨報告があった。
 - ② 卒業式の沖縄科学技術大学院大学長来場について
学長から、3月22日（木）に開催される本学の卒業式に、沖縄科学技術大学院大学長が来場する予定であり、式の終了後に本学との協定の調印が予定されている旨報告があった。
 - ③ 国家公務員の給与減額について
学長から、国家公務員の給与の改定及び臨時特例に関する法律の成立に伴い、文部科学省から、国家公務員の給与見直しの動向を見つつ、法人においても必要な措置を講ずるよう要請する文書が届いた旨報告があった。

教育研究評議会報

総務部総務企画課

日 時 平成24年3月27日（火） 14:00～15:50

審議事項

(1)平成24年度年度計画（案）について

大城副学長から、平成24年度年度計画（案）について、前回の本評議会及び経営協議会（3月16日開催）における指摘を踏まえ、資料に基づき説明があった。

学長から、各部局等から本案についての意見があれば、大城副学長へ連絡していただきたい旨発言があり、本評議会における指摘等も踏まえた上で、文部科学省へ提出したい旨発言があった。

(2)琉球大学学則の一部改正（案）について

教務課長から、琉球大学学則の一部改正について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

(3)琉球大学大学院学則の一部改正（案）について

教務課長から、琉球大学大学院学則の一部改正について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

(4)琉球大学大学教育運営規則等の一部改正等について

教務課長から、琉球大学大学教育運営規則等の一部改正等について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

(5)国立大学法人琉球大学一般職員再雇用規程（千原事業場、上原事業場、西表事業場）の一部改正（案）について

人事課長から、国立大学法人琉球大学一般職員再雇用規程の一部改正について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

(6)琉球大学熱帯生物圏研究センター規則の一部改正（案）について

研究協力課課長代理から、琉球大学熱帯生物圏研究センター規則の一部改正について、資料に基づき説明が行われた後、屋熱帯生物圏研究センター長から部門名の改正及び教員の配置について補足説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

なお、工学部長から、改正後の名称が研究内容と一致するのか質問があり、屋熱帯生物圏研究センター長から、前名称では研究内容全体をまとめることができないことが改正の理由である旨説明があった。

(7)琉球大学名誉教授候補者の選考について

人事課長から、各学部から名誉教授候補者として推薦のあった9人に対し、「琉球大学名誉教授称号授与規程」及び「琉球大学名誉教授授与規程に関する申合せ事項」に基づき適用条項の説明があった。引き続き、各部局長等から、名誉教授候補者の功績説明があり、その後、名誉教授の可否について投票が行われた。

投票の結果、推薦のあった9人全員に名誉教授の称号を授与することが了承された。

(8)教員の休職について

人事課長から、教員の休職について、資料に基づき説明があり、審議の結果、教員の休職が了承された。

(9) 医学部附属病院と中日友好医院（中国）との部局間交流協定締結の提案について

国際課長から、医学部附属病院と中日友好医院（中国）との部局間交流協定締結について、資料に基づき説明が行われた後、附属病院長から部局間交流協定締結について、本学医学部附属病院にとってメリットがあると考えている旨説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

報告事項

(1) 国立大学法人琉球大学旅費支給規程の一部改正について

財務企画課長から、国立大学法人琉球大学旅費支給規程の一部改正について、資料に基づき報告があった。

(2) 国立大学法人琉球大学における公的研究費の不正防止計画について

研究協力課課長代理から、国立大学法人琉球大学における公的研究費の不正防止計画について、資料に基づき報告があった。

(3) 全学教員人事委員会の審議結果について

大城副学長から、第108回全学教員人事委員会の審議結果について、資料に基づき報告があった。

(4) 一般入試の実施について

新里副学長から、一般入試について、前期日程及び後期日程が終了した旨報告があり、実施へ協力した教職員への謝意が述べられた。

なお、教育学部の入試で発生したリスニングテストの事故について、入学者選抜方法検討委員会において、検証チームを結成する予定である旨報告があった。

(5) 学生援護会寄附状況（平成23年度12月期）について

新里副学長から、学生援護会寄附状況（平成23年度12月期）について、資料に基づき報告があり、寄附への謝意が述べられた。

(6) 医学部論文不正問題に関する検証委員会の報告について

大城検証委員会委員長から、医学部論文不正問題に関する検証委員会が行った検証結果について、資料に基づき報告があった。

工学部長から、本件の報告事項に関する今後の取り扱いについて質問があり、大城委員長から報告資料を持ち帰りの上、内容を確認いただきたい旨回答があり、次回に改めて議論することとした。なお、資料は取り扱いに注意し、本評議会構成員以外への公表は行わないことが確認され、平成24年度の評議会構成員へも配布することとなった。

また、工学部長から、論文不正に関する外部調査委員会の調査結果公表について質問があり、小池監事から、公表する意向であるが、もうしばらく待っていただきたい旨回答があった。

(7) 事務組織の再編について

総務企画課長から、事務組織の再編について、資料に基づき報告があった。

学長から、企画と評価の関係について、企画の段階から評価の意見を取り入れる等、連携が必要である旨発言があった。

(8) その他

① 任期満了等に伴う委員の紹介について

学長から、4月1日付けで他の機関に異動する副学長並びに3月31日付けで定年退職及び任期満了となる部局長等の紹介があった。

②事務系幹部職員の人事異動及び退職等の紹介

井手副学長から、3月31日付けの定年退職者及び4月1日付けで他の機関に異動する事務部の部長及び課長について紹介があった。

③学士教育プログラムについて

新里副学長から、平成24年度から、全ての入学生へ学士教育プログラムの冊子を配布する旨報告があり、各学部でも参考にしていきたい旨発言があった。

④共通教育等科目シラバスについて

新里副学長から、共通教育等科目のシラバスへURGCC学習教育目標を記載するよう指導しているが、未記載のシラバスがあることから、必ず記載するよう周知していただきたい旨報告があった。

⑤「やわらかい南の学と思想」第4巻について

学長から、「やわらかい南の学と思想」の第4巻が刊行された旨報告があり、原稿執筆者への謝意が述べられた。